



特別警報の中で

校長 井上正裕

9月1日の朝、夏休みに取り組んだ作品を大事に抱えて登校する子どもたちの姿がありました。大きな事故等もなく、思い出に残る楽しい夏休みを過ごした子どもたちが、学校に戻ってきました。2学期のスタートです。

しかし、残念ながら、8月30日から、新潟県全域に、県独自の新型コロナウイルス感染症に対する特別警報が出されました。ワクチン接種は進められていますが、デルタ株により、大人ばかりでなく、子どもたちへの感染リスクが高まっていると言われていています。そのため、新発田市では、10月末までの泊を伴う学校行事等の実施を見合わせるよう通知が出されました。また、特別警報の期間中は、市の施設についても休館等の措置がなされています。

県や市の日々の感染確認者数は、一時よりやや減少しつつあるものの、子どもたちへの感染リスクが高まっている現状を踏まえ、今後予定されている学校行事や日々の教育活動について、学級あるいは学年単位を越える活動（複数学年が交流する活動）や、全校一斉に行動するなど密集場面が生じやすい活動、校外から多くの方が同時に来校するなど感染リスクが高くなる活動等は、実施を当面見合わせることにいたしました。

そのため、10月に予定している持久走記録会については、昨年と同様に、学年ごとの体育の時間に分散して実施することといたしました。また、ふれあい文化祭については、ふれあい体験活動は実施せず、展示作品の鑑賞も地域ごとの分散で御覧いただくことといたしました。

秋のよい季節を迎え、様々な活動への充実した取組を期待していただけに誠に残念ではありますが、現状を踏まえ、やむを得ないことと考えております。厳しい制約の中ではありますが、子どもたちの安心、安全を確保しながら、できる活動は着実に実施し、学びの保障を進めてまいりたいと思います。何卒、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

学校では、マスクの着用や手洗い、換気、密集を避けるなど、基本的な感染症対策を改めて確認し実施してまいります。御家庭におかれましても、引き続き基本的な感染症対策として、日々の検温や健康観察を実施していただき、体調が優れない場合は、登校を控えさせるとともに、早めの受診行動をお願いいたします。

困難な中で実施され閉幕を迎えた東京オリンピック・パラリンピックも、アスリートの素晴らしいパフォーマンスや関係者の努力により、多くの感動を残しました。今は、苦しい我慢のときが続いていますが、年が明ける頃には、きっとよい兆しが見られるものと信じております。子どもたち、教職員、保護者の皆様、地域の皆様と、ともに意識を高め、このときを乗り越えていきたいものと思います。長いトンネルの先は、光に充ちているに違いありませんから。

学校評価アンケートの結果から ～ご協力ありがとうございました～

1学期末に実施した第1回保護者アンケートと児童アンケートの集計結果をお知らせします。

【学校の教育活動に関する保護者アンケートから】

肯定的評価

1	お子さんは、学校生活を楽しんでいる。	98.4%
2	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	92.9%
3	お子さんは、地域の活動（子供会、地域の催し物など）や市内施設（図書館、五十公野公園、生涯学習センターなど）の利用を楽しみにしている。	80.5%
4	お子さんは、宿題や自主的な学習など、御家庭で学習する習慣が身に付いている。	86.9%
5	御家庭では、お子さんの家庭学習に積極的にかかわっている。（学習カードや自学ノートをチェックしたり、コメントを書いたりしている）	86.6%
6	お子さんは、「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」「いただきます」などの基本的なあいさつをする習慣が身に付いている。	94.9%
7	御家庭では、大人から積極的にあいさつをしている。	99.7%
8	お子さんは、だれとでも仲良くしたり、思いやりをもって人に接したりしている。	93.6%
9	お子さんは、自分や友だちのよいところを見つけ、声に出して言える。	90.4%
10	御家庭では、毎日必ずお子さんと会話をしている。	99.7%
11	お子さんは、友だちと一緒に元気に遊んだり、進んで運動したりしている。	91.7%
12	お子さんは、「早寝・早起き、朝ごはん、歯みがき」などの生活習慣が身に付いている。	89.8%
13	御家庭では、メディア（テレビ・パソコン・スマートフォン・携帯電話・携帯型の音楽プレーヤーやゲーム機など）の視聴・使用についてルールを決めている。	80.6%
14	お子さんは、アウトメディアを意識して取り組んでいる。	62.1%
15	学校は、学校だよりや学年・学級だよりなどの各種たよりやPTAの会、ホームページ等で、教育活動の様子や子どもの学校生活の様子を分かりやすく知らせている。	95.8%
16	学校は、子どものことについての相談に誠意をもって応じている。（学習、いじめ、友達関係など）	97.8%
17	学校は、保護者・地域の声に積極的に耳を傾け、協力・連携しながら教育活動を進めている。	97.8%

【学校の教育活動に関する児童アンケートから】

肯定的評価

1	学校は楽しい。	94.9%
2	勉強が分かる。	92.4%
3	宿題や自主的な勉強など、家庭学習をしている。	91.5%
4	課題を解決するために、自分なりの考えをもとうとしている。	93.7%
5	課題を解決するために進んで友だちとかかわっている。	90.6%
6	自分の考えや、友だちとかかわってわかったことを、ノートにまとめている。	90.6%
7	学校での活動を通して、地域のことを新発田のことに対する興味、関心が高まった。	94.2%
8	友だちや先生など相手の顔を見て、進んであいさつしている。	94.2%
9	自分のよいところや友だちのよいところを具体的に言ったり、認めたりしている。	94.5%
10	やさしい言葉づかいで友だちに接し、親切にしている。	94.6%
11	なかまはずしをしないで、だれとでもなかよく活動している。	97.6%
12	いじめは、いじめる人が絶対に悪いと思う。	96.4%
13	体育の学習や毎日の生活の中で、友だちとに進んで運動したり、できるようになるために粘り強く取り組んだりしている。	93.9%
14	自分が立てためあてに向かって、一生懸命に運動に取り組んでいる。	94.3%
15	自分の健康について考えて、・早起き、朝ごはんを食べる、歯みがきをするなど、正しい生活をしている。	95.8%

16	テレビを見たり、パソコン（スマートフォンやタブレット）・ゲームなどをしたりするときは、家族とルール（時間や場所など）を決めて行っている。	88.8%
17	先生には、学習のことや生活のことなど、困ったことをいろいろ相談できる。	93.4%
18	先生は、まちがった行動にはきびしく、わかりやすく注意してくれる。	98.5%
19	先生は、いじめなどわたしたちが困っていることについて、考えたり、話し合ったりする時間をとってくれる。	97.6%

保護者アンケートでは、項目3、項目9についての評価が、昨年度よりも高まっています。地域にかかわろうとする意識や自分や友達を肯定的に捉えようとする意識の高まりがうかがえます。

児童アンケートでは、項目8（保護者項目9と同様の内容）についての評価が、昨年度よりも高まっています。これは、保護者の方の捉えと一致します。学校での取組だけではなく、保護者の方がお子さんを肯定的に見てくださっている成果だと思います。

例年の課題である「メディア」については、保護者、児童ともに80%以上の方が「ルールを決めている」と回答をしていて、両者の数値に大きな差はありません。しかしながら、保護者の方は、「家でのルールは設定しているが、子どもはルールを意識していない」と感じている傾向があります。今後、どのように子どもたちにルールを意識させていくかを考えていくことが大切になります。

<保護者自由記述より>

保護者アンケートの自由記述の欄に書かれていた御意見を記載いたしました。なお、個人に関するものや個別にお答えさせていただく必要のあるものは記載しておりません。また、重複する内容については、まとめて記載いたしました。御理解いただきますようお願いいたします。

<学習>

- 音読を続けることで、家で学習する習慣がついたように思う。
- 「自学ノート」は自分でやることを決めて取り組めるところが良い。
- 「家庭学習カード」の学習時間の合計や累計を書くのも、やる気を出せているようで良い。
- 6時限まである日は、宿題を少なくしていただきたい（子どもが疲れて帰ってくるので、宿題をやる気力がなく、促すのも大変である）。
- 自学ノートに書いてくださる一言や、大きなマルに子どもが喜んでいる。多人数の子どものノートを見なければいけないが、しっかり見てもらえて、本当にありがたい。負担のない範囲で続けてもらえたらと思う。

<メディア>

- メディア視聴に関するルールを守れないことがあるので、引き続き見守っていきたいと考えている。
- アウトメディアの取り組みは、改めて自分の行動を見られるようで、自分でやっている自信にもなり、良いと思う。

<GIGAスクール>

- GIGAスクールについてタブレットの活用方法など見えない部分があります。有効に活用されることを願う。

<学級運営>

- 友達との間で何かトラブルがあっても、先生がすぐ対応してくれて仲直りできるので、とても良いと思う。
- 不安に感じたことに対して、先生が子どもの目線で考えてくれ、感謝している。
- クラス全体で目標を達成できたときに、先生から花丸をもらえ、10個たまるとご褒美のお楽しみ会をやるそうですが、個人としても楽しんでいるし、クラスメイトの子とも気遣っているように感じている。家庭でも参考にしている。
- 先生たちは、本当に一生懸命子どもたちのことを考えてくれていてとてもありがたい！オーバーワークで体調を崩さないように気を付けてください！

<学校運営>

- 学習参観後の振替休業日があることを、近くなるまで知らない人が多くいた。年間予定表にはあったが、コロナなどで予定が変わりやすいので、前もってお知らせいただくと助かる。
- 学年が変わると、相談事などは引き継がれているのか、不安に感じたことがあった。
- 毎年、年間行事予定が配られるのが遅すぎる。仕事の都合もあるので、4月に入ってからでは遅い。仮でも2月か3月初めには配ってほしい。
- 休日を振り替えてまで引き渡し訓練をする必要はないように感じる（実際、昨年度の大雨のときは訓練通りには行っていなかったので）。行うにしても午後まで授業を行ってからがよいと思う。

学校では、「感染症拡大の予防」に努めながら「子どもの学び」を最優先に考え教育活動を進めてきました。その中で、保護者の皆様の御意向に添えない取組もあったかと思ひます。今後も皆様の御意見を真摯に受け止めながら、子どもたちにとってよりよい教育活動ができるよう取組を考えていきます。御多用の中、アンケートに御協力いただきありがとうございました。

新潟水俣環境賞 優秀賞受賞！

第22回新潟水俣環境賞 小学校5・6年生の部で、勝見ゆずなさん（6年）が5年生の時に書いた作文『次は僕たちが後世へ語り継ぐ番』が優秀賞、同じく松縄ももこさん（6年）の『「公害」を防ぐために』が佳作を受賞しました。外ヶ輪小学校の児童による優秀賞の受賞は、昨年度に引き続き、2年連続です。

優秀賞を受賞した勝見ゆずなさんは、県立環境と人間のふれあい館で行われた授賞式に参加し、表彰されました。なお、優秀賞を受賞した作文については、ネット上に掲載されていますので、御一読いただければ幸いです。



個別最適な学びの実現に向けて

2学期になり、1学期に使用を開始した一人一台端末の活用が本格化しています。導入されたロイロノート、AIドリル等の活用により、子どもたちの特性や学習進度、学習到達度等を踏まえた「指導の個別化」が可能になります。また、一人一台端末により、子どもたちの興味・関心に応じた問題解決的な学習、「学習の個性化」も期待できます。今後は、端末を家庭に持ち帰って使用することにもなり、より個別最適な学びが進められることでしょう。これらの活動に際しては、家庭での端末の管理や充電、Wi-Fi環境の整備など、保護者の方の御理解・御協力も必要となります。子どもたちの個別最適な学びの実現に向けて、何卒よろしく願いいたします。



朝の健康観察に活用している様子

お知らせ

職員の退職と新しい職員の着任について

一身上の都合により、8月末をもちまして、2年2組担任の上万里絵教諭が退職いたしました。9月からは、猪股剛講師が担任を務めます。また、学校支援ボランティアとして、奥村円先生が週に2回、2時間程度勤務し、教育活動の補助をさせていただきます。お二人とも、外ヶ輪小学校に勤務された経験のある方ですので、すぐに子どもたちとも信頼関係を築いてくれることと思ひます。



猪股 剛 講師



奥村 円 先生

各学年のおたよりについて

教職員の働き方改革にかかわる業務の見直しにより、2学期からの各学年・学級だよりの発行回数等を変更したり、しなかったりする場合があります。ただし、発行しなかったおたよりの内容については、他のたよりに記載するなどし、児童及び保護者の皆様にお知らせする情報は今までと変わらないようにいたします。何卒、御理解と御協力をよろしく願いいたします。